

薬剤2種併用で効果 難治性がん、金大など研究

乳がん治療に使われている薬剤と、別の薬剤の2種を併用することで、他の難治性がんの治療にも効果があることを、金大がん進展制御研究所と東京医科歯科大脳統合機能研究センターの共同研究グループが26日までに明らかにした。肝細胞がんや肺がん、大腸がんなどの治療に役立つことが期待される。

の開始に向け、がん臨床科の研究参画を呼び掛けている。研究成果は26日、米国学会誌のオンライン版に掲載された。

ほとんどのがんでは、がんの増殖を抑える遺伝子の働きが鈍くなっている。乳がんの治療には、がん抑制遺伝子の働きを復活させる薬剤「合成CDK4/6阻害剤」を使用する。他のがん治療では、これだけを投与しても十分な治療効果を得ることが難しかった。

研究では「合成CDK4/6阻害剤」に「IKKβ阻害剤」「AKT阻害剤」という治療段階にある薬剤をそれぞれ併用すると、高い治療効果を発揮することが分かった。

研究グループは臨床治験